



Rotary



東京八王子西
ロータリークラブ

Report

2019-2020 No.4 令和元年 9月20日

●会長標語

会長 石森 浩元

ロータリーをたのしもう

今週のプログラム

- 第2569回 (9/20)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*卓話:野川勇ガバナー補佐 RI 会長
*テーマ:マーク・マローニーの
*補助金贈呈:東京八王子ローターアクトクラブ

次回のプログラム

- 第2570回 (9/27)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*卓話:吉田観賞魚販売株式会社
代表取締役 吉田俊一氏
*テーマ:地元企業と市民によるエリア
リノベーション

私は、1970年2月17日生
まれの現在49才になります。自
宅は八王子市小比企町で、会
社員時代の約半年間を除いて
ほぼ実家で過ごしてきました。
私は長男として誕生しました
が、いわゆる「末っ子長男」で、
しかも下の姉のあとには生まれ
てすぐに亡くなつてしまつた兄が
いました。もし、その兄が丈夫に
育つていたら、私はここにいなかつ
たかも知れませんが、二人とも
元気だったとしても、私はまったく
違う性格の人間になつていた
かもしれません。それでもやつと
生まれた健康な男の子でしたの
で、当然大事に育てられ可愛が
られました。端午の節句になれ
ば鎧兜が飾られ、家の前には、
専用のポールが立ち5匹の大き
な鯉が泳いでいました。



磯間正裕 会員

イニシエーションスピーチ

小学校に入学するとそろば
ん、習字、水泳などを習いまし
たが、いずれもよく出来たとは
言えません。3年生後半
からは地元元のサッカークラブに入
部し、ポッチャリして大人しかつ
た私は、4年生に上がるころ
ゴールキーパーになりました。G
Kの練習といえば、みんなが順
番に蹴つて来るシュートに飛びつ
いて、一人だけ地面をゴロゴロ
し、シュートを止められなければ
罵声を浴びるというような練
習でした。土のグラウンドで、当
時はスパッツなどもなく、お尻に
いわゆるハンバーグを作つたり、
突き指をしたりケガが絶えませ
んでした。そんな練習の甲斐も
あつてか、我が「南八王子サッ
カークラブ」は八王子市内では2
強と言われるチームで、その2
チームだけが都内の強豪10チ
ームで構成される「武蔵野リーグ」
に所属し、都内まで遠征してい
ました。また、その2チームを中
心に八王子選抜が生まれ、静岡
まで遠征をして各地の強豪チ
ームと親善試合をしました。もち
ろん、私もGKとして選抜され
ていました。

中学校は、同じクラブチームの
約半分が、由井中学校に進学し
ました。ちなみに、「タッキー」こ
とジャニーズの滝沢秀明さんは
由井中の後輩になります。サッ
カー部は、私たちの学年がレギュ
ラーになった1年間は、市内の3
つの大会で2度の優勝と1度の
準優勝でした。つまり、市内の公
式戦では1度しか負けませんでした。
3年生の夏には都大会で
も次々と勝ち、ベスト4まで進む
ことが出来ました。同時に私は、
「優秀選手賞」も頂くことが出
来ました。優秀選手は10名ほど
いて、最優秀選手も数名いまし
ましたが、GKとしての表彰は1名か
2名だったはずなので今でも誇
りに思っています。

高校受験は夏休みが始まつて
もサッカーをしていたので、少し
出遅れた感はありましたが、「明
治大学付属中野八王子高
等学校」に進学しました。ちな
みに、高校にも立派な後輩がい
ます。小林秀司君、馬場義和
君、小松政人君が私の後輩にな
ります。私が入学したときはま
だ2期生で、先輩が1学年しか
いない新設校でした。校舎や設
備はきれいで、先生も若く、や
る気があるのはいいのですが、校
則を厳しく取り締まりました。
時代ではなかったのですが、授業中に
寝ていたり、校則を破つたりす
ると殴られたり、坊主というこ
とが普通にありました。私は、な
んとか3年間坊主にならずに済
みました。高校でもサッカー部に
入部しましたが、都内の高校で
は「こだけ」と言われた天然芝の
グラウンドは傷むからという理
由で、夏の1時期しか使えず、
コンクリートの上で筋トレや走り
込みばかりしていました。試合
は一回戦を勝てるかどうかで、
特に中学の後輩がいるチームに
8点も入れられて負けた屈辱
を今でも覚えていきます。

大学は明治の直系の付属で
はなかったのですが、1部に3割強、
2部(夜間)に3割弱の推薦し
がなく、私は1部への転部の枠
が比較的多いという理由で、2
部の政治経済学部に進みまし
た。ですから、1・2年生のとき
は、昼は転部の勉強、夜は大学
に通うという生活がほとんどで
した。ただ、サッカーだけはサーク
ル活動で楽しみながら、3学年
進級時に1部に転部することが
出来ました。合格者が数十名の
転部試験に合格したと話すの
「それはすごい。」と言われるの
で、今では私の自慢のひとつと

なっています。

就職はバブル末期でしたが、それほど苦労はしませんでした。文系でありながら、ものに付加価値をつけて利益を生み出すことが経済活動の本質だろうと製造業を志望し、出来れば地元企業ということで日野自動車に入社しました。入社してすぐに3ヶ月間の工場実習のため、主にトヨタ自動車のハイラックスのピックアップ（後ろが荷台のタイプ）とカローラIIを受託生産していた羽村工場に移りました。

中略

工場実習が終わると購買部での3ヶ月間の事務実習のうち、原価管理部に正式配属され、主に日野自動車ボディの設計を担当していたハイラックスの原価企画を担当しました。車は掛かった原価に利益を乗せて販売価格が決まるのでなく、商品企画が市場のニーズを分析して、車の仕様を決め、車が売れるための価格が決まります。そこから目標利益を引いて1台分の目標原価が決まります。設計は、部品単位にまで落とし込んだ目標原価に抑えるため、部品1点1点の形状や厚さ、素材を

変えたり、性能を見直したり、部品の共通化や仕入先の変更を検討して、1円単位の原価低減を図っていました。私たちは設計と一緒に部品検討会などにも出席しましたが、部品の仕組みやなぜそのような形状になっているのかが分かり、ここでもモノづくりの楽しさを感じました。

しかし、入社9年目の夏、31才のときに、難病指定されている「膠原病」(悪性リウマチ)を患っていた母が、最期は「くも膜下出血」によつて59才で亡くなりました。その数年前から父も難病指定されているパーキンソン病の一種「進行性核上性麻痺」に掛かっており、母は父の看病にも身をすり減らしていました。そんな状況にもかかわらず、姉が手伝いに来ていたことに安心し、仕事ばかりでほとんど両親の面倒など見ていなかったことは非常に申し訳なく思っています。

母が亡くなったのち、父の介護のため介護休暇を取りましたが、1年後家業のこともありそのまま退職してしまいました。最近社会問題として浮上ってきている介護離職を33才で経験してしまいました。父はまだ60代で若かったこともあり、病

気はどんどん進行していきました。食事をするのにもスプーンを持ったまま止まってしまっていました。月に数回ショートステイで、老人ホームに預けることもありましたが、歩こうとしては転んでしまうので、ベッドに縛り付けられることもありました。周りは80代90代なのに申し訳ないと思っていました。最後は口から食事を摂ることも難しく、いには母の亡くなった約3年後の平成16年5月に68才で亡くなりました。葬儀では、町田商店にお世話になり、馬場君の運転する霊柩車に親子で乗せてもらったことを覚えています。

さて、家業についてですが、もともとは農家で、お蚕などもやっていたようです。祖父の健二も朝から晩まで働いて苦労していたようですが、私の知っている祖父は「禁酒禁煙で一生懸命働いて来た。」とお酒を飲みながら気持ちよさそうに話している姿しか知りません。いまから50数年前に、農家から次第に不動産賃貸業へと移行していきましたが、当時は周りから「畑をつぶして何を考えているんだ」と言われたそうですが、税理士からは「あの時代に決断出来たことはすごいこと。」だと聞いて

います。

父の正一は、農業を継ぐつもりで農業の勉強もしていました。が、大学は経済学部、そして八王子市役所へと進みました。父は祖父が亡くなったのち54才で退職し家業を継ぐことになり、いくつか別の事業も試みましたが、結局は上手くはいかず、しばらくして病気になるてしまいました。

私も本来であれば定年まで会社員として勤めてから家業を継ぐつもりでいたのですが、母が亡くなったあとは何とかならないものかと考えていましたが、介護休暇中の1年間であきらめました。その後、不動産の知識として勉強しようと思い「宅地建物取引士」の資格を取得しましたが、不動産の売買や仲介までは実務経験がなかったため、踏み出すことが出来ず現在に至っています。

それよりも、私にはもっと重要な問題がありました。38才のころ、銀行の担当者から「これからどうするつもりですか?」と聞かれ、すぐに「はっ!」と気が付きました。「後継ぎのことを言っているんだ。借金も出来なくなる。」しばらくそんなプレッシャーを感じながらもようやく40才の冬に今の妻と出会い、42才の夏に結婚し、43才になる1

日前に娘が生まれ、気が付けば峰尾前会長が叔父さんになっているという怒涛の展開が待つていました。でも、高尾の家に行けばいつもおいしいお酒を頂けるのでそれはよかったです。また並行して、34才~40才までは青年会議所の活動に参加して、多くの仲間と様々な経験をさせて頂きました。卒業後も八王子青年会議所の事業である「八王子森林パトロール隊」の隊長を6年間務めました。森林パトロール隊の活動には、毎年当クラブからも助成金を頂いておりましたので、改めて感謝申し上げます。

こうして振り返ってみると、やはり末っ子長男であること、サッカーでもGKという守備のポジションだったことから考えても、自分の人生はあまり派手なこととはせず、守りの人生なのかなと感じています。

最後に、サッカーは現在も八王子の壮年1部リーグで頑張っています。周りには70才を越えてもボールを蹴っている人もいますので、私も出来るだけ続けたいと思っています。ゴルフもなかなか上達しませんが、メタルを鍛えて続けていきたいと思っていますので、お誘い頂ければと思っています。

例会報告

第2567回 ● 2019.9.6 (金)

- ◇司会 野口文男会場監督
- ◇開会点鐘 石森浩元会長
- ◇君が代斉唱
- ◇Rソング 奉仕の理想
- ◇お客様のご紹介 石森会長
新会員 若松健次様
青少年交換来日生
ヴェルテール・エリズさん
- ◇食事と交歓 中華
- ◇出席報告 石田出席副委員長
会員110名中78名出席。
出席率78%。前々回8月23日の出席率74・75%を79・80%に修正します。
- ◇二〇二〇発表 松島財務委員長
- ◇会長挨拶 石森浩元会長

関係し、7月～8月は予想に反してガソリンの値段が下がりました。

いろいろお伝えしましたが何を伝えなかったのかというところ、ガソリンの値段のことはわかからないので僕に聞かないでください、ということ。

◇幹事報告 神辺和幸幹事
*本日メールボックスに活動計画書と前年度の決算報告書をお入れしました。

*本日新会員が入会されました。また新しい名になりました。また新しい情報がございましたら町田増強委員長までご提供をお願いいたします。

*10/9(水)八王子エルシにて浅田豊久ガバナリーの公式訪問がございます。本日皆様へメール及びFAXにてご案内をお送りいたします。

*本日の理事会にて予納金からの支出が承認されました。北部九州豪雨被災者支援金に一人当たり800円、赤い羽根共同募金に一人当たり500円を予納金より支出いたしますので宜しくお願い申し上げます。

*本日の例会終了後全員協議会がございます。前年度の決算報告についてですのでお手元に決算報告書をご用意いただきますようお願い申し上げます。

◇新会員入会式
紹介者：石井昭久会員
新会員：若松健次会員

◇青少年交換来日生へ奨学金贈呈と近況報告
ヴェルテール・エリズさん

◇100%出席表彰
橋本孝出席委員長

1年相川博・小林孝行・平野智彦・天神敏博・的田健司・追川紳太郎・磯間正浩

2年原巖・湖上安3年小林潔正・岸田功典・田村肇・三村裕介・池田勝・秋間勝

仁・原啓一郎・塩野明・宮原真吾・笠井豊4年小杉吉己

5年瀬沼庄次郎・鳥羽正浩・青木清治・田中伸幸6年浅川立憲・加藤直也7年宮澤徳光・秋間正好・橋本孝・松島勝・山口寛9年神辺和幸10年福山慎吾・石森浩元

11年関和之18年諸星宗幸19年石井昭久20年森明21年金子裕22年赤上晃24年峰尾孚・大石創元・大石和春27年倉田正29年三浦眞一・野口文男31年黒須弘道37年杉本勝義38年石田初雄(会員敬称略)

◇三祝

◇スピーカー紹介 池田副幹事

スピーカー 磯間正裕会員

テーマ インニケーション・スピーチ

◇閉会点鐘 石森浩元会長

九月三祝

長月 (ながつき)

誕生石 えぞ菊
誕生石 サファイア



会員誕生祝

- 黒須 弘道 76回
- 山本 正光 73回
- 鈴木 雅徳 57回
- 山本 俊明 56回
- 門倉 裕 50回
- 松崎 眞司 49回
- 田中 伸幸 48回
- 的田 健司 48回
- 若松 健次 47回

会員令夫人誕生祝

- 黒須 典子様
- 及川 知弥子様
- 青木 美紀様
- 田中 紀子様
- 平野 晶保様
- 明利 千枝子様
- 末木 里栄様
- 松崎 知子様
- 若松 智穂様

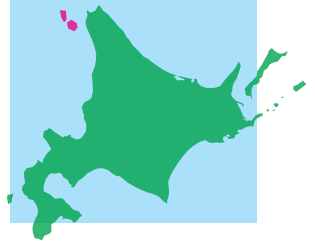
結婚記念祝

- 桂田 公男 47回
- 蔵本 健 35回
- 加藤 直也 31回
- 坂下 幸夫 30回
- 門倉 裕 29回
- 松崎眞司 25回(銀婚式)
- 末木 博 24回
- 市川 隆 21回
- 田中 伸幸 19回
- 原 啓一郎 17回
- 高橋 光康 15回
- 立花 探 15回

(順不同 会員敬称略)

53年振りの 利尻島訪問記

馬場榮次記



7月18日(木)から21日(日)まで、「高山植物の楽園 利尻島・礼文島4日間の旅」に出かけて来ました。思えば、利尻島には53年振りの上陸(大学生の時、友人と北海道一周旅行をした)でありました。

稚内港から大型フェリー(観光バスも一緒)に乗船し鴛泊港へ。波は2メートル程度で多少の揺れは感じたが、一等ラウンジ席で優雅な船旅を過ごせました。時間は100分程度であったが、何よりも大きな荷物はバスの中に置いておけるのが楽であった。旅行者によってはトランクケースを船内に持ち込まなければならぬ乗客もおり、旅行社の手配の違いを感じました。

53年前には波の谷間に大きく上下したフェリーの甲板に寝そべり船酔いに苦しんだ苦しい思い出が蘇りましたが、今回の船旅は正に快適そのものでありました。

利尻島は、人口4,450人の半年観光と漁業の島であります。昔来た時よりは街並みは広がりきれいになっていました。

上陸後観光バスで1泊目のホテルである「アイランドインシリ」に到着した。ホテルの屋上から見る日本海に沈む太陽(夕日)はすばらしい光景であり、ホテルでの夕食はウニや利尻コンブなどの食材による料理を堪能しました。食後の休憩を取って利尻温泉の大浴場へ、露天風呂もあり旅の疲れを癒すことができました。

2日目は観光バス(宗谷バスで4日間同じバス)で島内見学へ。まず原生林に囲まれた姫沼から利尻山を仰ぎ見る。山頂には雲がかかり、湖面に逆さ富士を見ることは出来なかったが、絶景の「夢の浮島」を体感する。その後、オタトマリ沼、仙法志御崎公園を見学して、昼食は刺身定食やホットケ焼定食などをいただきました。又、ホタテ焼やソフトクリームの立ち食いも美味しかったです。

そして、鴛泊港で前日と同じように大型フェリーに乗船(観光バスと一緒に同乗。島内には大型観光バスはないようです)。一等席で45分間寛ぐ内に礼文島の香深港に到着し初めて礼文島に上陸しました。そのまま観光バスに乗車して島内の散策へ。礼文島は「花の浮島」と云われるほど高山植物の豊富な、そしてトレッキングコースの整備された一度は行ってみたい島であります。人口は2,500人。利尻島と同じ半年間の観光と漁業の島であります。

花ガイドの案内で桃岩展望台コースをゆつくりと散策。レブソウをはじめ礼文島に高山性の花々が咲き誇ります。7月よりは6月に出かけた方が高山植物がもつと華やかであると思います。是非、体調管理をして、一度最北の島を旅したらいいかがでしょうか。

今般、本年度の親睦旅行が発表され、「利尻礼文サロベツ国立公園への旅行が企画される」とのことですので、この絶景を楽しむことができると思えます。注意は風(強い)や雨(傘はだめ)の対策をすること。歩きやすいシューズで出かけることが必要です。トレッキングコースはアップダウンはあるが、お花畑を通過して歩きやすい100分位のコースもあります。整備された道を少しでも踏み外すと花ガイドさんに叱られます。それは高山植物の保護のためです。

礼文島のホテルはプチホテル「コリンシアン」でした。ホテルのオーナーのこだわりのホテルでゆつくりと礼文温泉につかり、夕食にはウニやイクラ、ポタンエビなど、礼文島の海の幸を使ったコース料理を堪能しました。夕食後、別館ギャラリー地下のシアターでドローンを使い撮影した礼文島の四季折々の紹介ビデオを鑑賞しました。上空から見る島の全体や絶景に感動しました。

3日目は、同じ観光バスで澄海岬やトド島展望台をまわり、江戸屋山道を散策しました。ここでも高山植物を見ながらの散策は気分爽快でありました。そして、礼文島最北端の岬であるスコトン岬へ。ここからトド島が一望できます。そして晴れた日は樺太(サハリン)の島影も遠望できることでしたが、残念ながら曇り空で確認はできませんでした。この岬に立つてよくぞこの島がソ連に占領されず日本の国土として残ってくれたと不思議な感動にかられながら小雨が降り出した中、岬を後にしました。

稚内港に戻るフェリーターミナルのある香深港へバスで戻り、昼食(ウニ丼、海鮮丼が最高に美味しかった)を食べて大型フェリーに観光バスとともに乗船し、2時間かけて稚内に戻り稚内の街を見学し、稚内でさらに一泊翌日飛行機で東京に戻りました。

利尻礼文の島々は、大勢の団体が一度に行ける観光地ではありませんが、日本の北の島めぐり、高山植物との出会いなど一度は体験してもよい旅であります。特に高山植物の中でのトレッキングは天候に恵まれればお花畑の中を絶景を眺めながらの最高の旅となるでしょう。



礼文島トレッキングコース(桃岩展望台コース)



姫沼より利尻山を見る

卓話 企業のストレスチェック

2019年9月13日



KOCORO 健康経営株式会社
代表取締役 植田健太 氏

皆さんこんにちは、只今ご紹介いただきました植田健太と申します。臨床心理士と公認心理士という資格、カウンセラーの資格と社労士という法律的資格と両面で、活動をさせていただいています。1つ目の資格については、一応自分でいうのもないですが、本を3冊出させていただったり、一般社団法人ウエルフルジャパンに全国2000の社労士事務所に参加していただいて、ストレスチェックを提供する仕事をしております。実績としては、600社、8万人のストレスチェックを実施させていただいています。その中には、警察庁のストレスチェックも、実はやらせていただいております。もう少し自慢すると、1回NHKにもストレスチェックで出たことがあります。

す。(四国羅針盤)

ストレスチェックってどういうものなのということを話させていただきます。国の指定するストレスチェックの3領域というのは、職場と仕事の状況と、心身の反応と、周囲のサポートで、それを測るのをやりなさいということ。2015年に義務化されました。1年に1回定期にということなので、毎年春とか秋とかストレスチェックをやりなさいということになっております。50人以上の事業所では義務化されています。ここは結構大きなポイントです。よく労基署の監査で、知らなかったということで、指導を受けることが多いのですが、50人の中には、恐ろしいことにパートアルバイトを含むんです。また、ややこしいのですが、社員が5人で45人がパートという会社であった場合も義務の対象なんです。ストレスチェックしないといけない従業員はこの社員5人です。45人は努力義務となります。一時期マイナンバー騒動があったと思いますが、あれよりも取り扱いを厳しく考えた方がよいと思います。会社は本人の同意なく結果を知ることでは

きないことになっていきます。会社はお金を出して受けさせているのに、結果は本人が言わないと見られない、健康診断を実施している業者からするとありえない制度になっています。しかし、集団的分析、いわゆる平均値、10名以上で部署ごとに見て、例えばA部署は上司の支援が少ないとか、そういうのはOKになっていきます。なので、そういうのを見て、組織改善してくださいということになっていきます。労基署への報告もあります。出してないと指摘を受けやすいということになります。

ストレスチェックは、日本で初めてメンタルヘルス対策が企業に義務化された一歩なので、まだまだ未熟というか、そういう時代と思っただけで、50名社員がいなくてもひとまずやってみようかということ、うちにメールをいただければ行きますので、お声がけいただければと思います。

ストレスチェックをするには

衛生委員会というのが、従業員50名以上だと設置が義務付けられています。そこでどういっ

きますから、注意していただければと思います。

最近ストレスチェックをやらせていただいているのは、去年の今頃ぐらいからですが、ほとんどメンタルというよりはハラスメントというのが流行ってきています。なんでも今ハラスメントで、セクハラとパワハラ、一番直近ですと、「お前がなればよ」と肩を軽くたたいたのがパワハラになります。パワハラではないんですけれど、本人がパワハラだと訴えて、労基署に行きます。その会社は雇用主は外国の方だったという特殊な事情があるんですけど、これも、けっこうなんでもパワハラだと言われていると感じています。最後は一番大切なのは、社長と働く人とのコミュニケーションが取れていけば大丈夫だと思いますが、ぎすぎすしている会社では、相談を受けた分ですら、社長のエンターを押す音があるやいと、パワハラの申し立てがありました。ですからストレスチェックするにしろ、風通しの良い会社づくりをしていただくと非常にいいんじゃないかと思っております。社長から声をかけていただいて、働きやすい職場を作っていただくのが良いのではないかと思います。

たストレスチェックをするのか、だれにやらせるのか、ということを決めていただく。それを労使で、もんで、ストレスチェックを実施して個人に返して、労基署に報告して、問題点を話す。ということをやっていると、ストレスチェックの内容になります。この一連の流れがストレスチェック制度になります。ストレスチェックをしないことで、直接的な罰則はないんです。義務はあるけれども罰則がない。しかし、そもそも衛生委員会が審議しなくてはならない。衛生委員会は3年間議事録保存義務があります。衛生委員会は議事録を保存しないと50万円以下の罰金となるので、間接的に罰則があるというのがストレスチェック制度です。罰則がない場合でも義務というところで、労基署の是正勧告は結構強いです。労基署には通常指導と是正勧告があるのですけれど、是正勧告の方が重いんです。是正勧告を放つておいたり虚偽報告をすると、事業主は一発送検になります。ですから今50名以上でないから大丈夫という会社も、10名になるとかなりの会社が対象になって

例会報告

第25068回 ● 2019.9.13 (金)

◆ 司会 諸星会場監督補佐

◆ 開会点鐘 石森浩元会長

◆ Rソング 我らの生業

◆ お客様のご紹介 石森会長

KOCORO 健康経営株式会社

社代表取締役植田健太様、

東京サンライズ汐留RC

鹿島孝夫副幹事

◆ 食事と交歓 和食

◆ 出席報告 檜崎博出席委員

会員110名中65名出席。

出席率65・66%。前々回8月

30日の出席率74%をクラブの

会費を使つての実施の為10

0%に修正します。

◆ ニコニコ発表

角田昌己財務副委員長

◆ 会長挨拶 石森浩元会長

*先週の例会では喉が痛くて声

が出なかつたのですが、今度は

咳を過ぎ過ぎて気管支炎になっ

てしまいました。お聞きづら

かと思いますがご容赦のほど

お願いいたします。

*先週仕事で仙台へ行つて参り

ました。行きは東北道で帰

りは常磐道を使用しました。帰

りの道はノロノロ運転で、何故か

などと思つたら除染の土を運ぶ

トラックが10台くらいまとま

て走っていました。電光掲示

板で放射線の数値がマイクロ

シーベルトで表示されていて

0.2~3.5%くらいの幅で変動し

ていました。煙と同じ様に風

の影響があるのかもしれない

ですが、地域の皆さんは大変

なご苦労があるのでではないか

と思います。

*先日の台風の影響で千葉の方

が大変な状況のようです。イ

ンフラの整備は民間ではな

かなか難しい面があるので国

方で一生懸命やつていただけ

たらと思います。ご存知の通

り、秋生田光一議員が大臣

に就任されました。是非頑

張つていただきたいと思います。

*千葉では何件ものガソリン

スタンドが休業しているみたい

です。東京都の石油組合では

3・11の後、自家発電の装

置を入れるよう推進いた

しました。うちのガソリン

スタンドでも13基全て稼働

できるように発電機を入れて

います。もしもの時にはお越

しいただければと思います。

◆ 幹事報告 なし

◆ 東京サンライズ汐留RC

鹿島孝夫副幹事より

10/17 (木) 創立5周年記

念式典のご案内

◆ スピーカー紹介

赤上晃プログラム委員

スピーカー

KOCORO 健康経営株式会社

代表取締役 植田健太氏

テーマ

「企業のストレスチェック」

◆ 閉会点鐘 石森浩元会長

◆ ニコニコボックス

● 2019.9.6 (金)

◆ 石森会長・若松健次さんを

会員としてお迎え致します。

宜しくお願ひ致します。

交換学生のエリスさんよう

こそお越し頂きました。

◆ 神辺幹事・新会員の若松

さんよろしくお願ひ致しま

す。来日生エリスさんよう

こそ例会にお越しいただき

ました。

◆ 福山・9月14日開催の八

王子おわらに對しまして会員

多くの方々に協賛頂きあ

りがとうございました。

◆ 石井・新会員、若松君を

よろしくお願ひ致します。

◆ 萩原・監査報告をさせて

いただきます。

◆ 坂下・本日三祝にて結婚祝

いの花束をいただきます

ありがとうございます。

◆ 青木・妻の誕生日ですので。

◆ 山本正光・

◆ 田中・三祝ありがとうございます。

◆ 三村・新会員の若松さん

宜しくお願ひ致します。

◆ 松崎・三祝にて毎年、結婚

記念日、自分の誕生日、女房

の誕生日とお祝ひ頂きありが

たうございます。

◆ 末木・妻の誕生日いと結婚

記念日祝ひありがとうございます。

◆ 町田・若松さんご入会あり

がとうございます。皆様新

入会員情報お待ちしており

ます。

◆ 的田・本日誕生日のお祝

いをいただきます。いつもあ

りがとうございます。

◆ 山本俊明・三祝ありがとうございます。

◆ 磯間・本日のイニシエ

ション・スピーチよろしく

お願ひ致します。

◆ 小松・磯間さんイニシエ

ションスピーチがんばって

下さい。

◆ 勝田・よろしくお願ひいた

します。

◆ 若松・宜しくお願ひ致します。

◆ 石森会長・本日、植田健太

様に卓話をして頂きます。

宜しくお願ひ致します。

◆ 神辺幹事・本日の卓話講師、

植田健太様よろしくお願

ひ致します。

◆ 鹿島孝夫 (東京サンライズ

汐留ロータリークラブ)・本

日はよろしくお願ひ致しま

す。

◆ 村内・村内恒例のチャリ

ティーパーティーが明

日より催されます。よろし

くお願ひします。

◆ 黒須弘道・誕生日のお祝

ひ女房共々頂きました。

◆ 蔵本・結婚祝ひを頂きます。

◆ 角田・本日は中秋の名月、

王子の地酒、桑の都を、鼻

東京八王子西ロータリークラブ

東京都八王子市旭町 14 番 1 号
 京王プラザホテル八王子 8F
 TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753
<http://www.hachioji-west-rc.org>

会長 石森 浩元 幹事 神辺 和幸
 広報委員会 浅川立憲 小林孝行 原巖 青木清治 小杉吉己

日より催されます。よろしくお願ひします。

◆ 黒須弘道・誕生日のお祝ひ女房共々頂きました。

◆ 蔵本・結婚祝ひを頂きます。ありがとうございます。

◆ 角田・本日は中秋の名月、王子の地酒、桑の都を、鼻原に！

◆ 黒須隆一・昨夜のイベントが無事終了したので。

◆ 秋間・植田さん卓話お願ひします。

(順不同・会員敬称略)